笑顔咲（さく）く！　マスクプロジェクト

１　目的

（１）福祉、教育の現場の皆さんに感謝の想いを込めて手作りマスクを届ける。

（２）マスク作りを通じて想いを共有して従来のつながりを保ち、さらに新たなつながりを創り出していく。

（３）緊急事態宣言下の生活であっても地域の中であらたな役割を担っていく。

２　主催　（公財）長野県長寿社会開発センター佐久地区賛助会
　　（公財）長野県長寿社会開発センター佐久支部

３　実施期間　令和２年４月 27 日（月）～令和２年５月 18 日（月）

４　実施状況

（１）寄付いただいた布マスク

大人用　695 枚　　子ども用　140 枚　　総計　835 枚

（２）関わってくださった方々の人数　　80 名程度（地域住民の方々も協力いただきました。）

（３）マスクの寄付先

No	施設名
1	うすだコスモ苑
2	ウエルガーデン佐久
3	南相木村社会福祉協議会デイサービスセンター
4	デイケアさくら
5	ニチイケアセンターなかごみ
6	デイサービスセンター星の里
7	宅老所およりなんし
8	デイサービスセンター佐久平愛の郷
9	岩村田・東地域包括支援センター
10	佐久だいらデイサービスセンター
11	社協アスパラキッズ
12	小諸養護学校

（４）企画を実施してみて

① マスク作りを通じて「つながり」が保たれて同時に交流が盛んになりました。

② マスク作りを周りの方に話したことを通じて新たなつながりができあがりました。

③ ひとり一人の想いがつながって多くの施設にマスクをお渡しすることができました。その意味で役割を担っていただくことができました。

④ 支部としても介護施設等との新たなつながりを持つことができました。終息後、シニア大生とのコラボの企画が出てくる可能性が広がりました。

（５） マスクをお持ちくださった方々、マスクをお届けした施設の様子

シニア大学佐久学部２学年（尾台さん、依田さん、竹内さん）が 150 枚の布マスクを持ってきてくださいました。主に尾台さんが、この時のためにつくりおいたマスクを提供してくださいました。尾台さんは「自分が役立てることがあって本当に良かった。」と話しておられました。

ゴム紐がない状況でしたが後日３人でゴム紐をつける作業もしてくださいました。30 年度の卒業生ですが、もっと勉強したいということで再入学された仲良しメンバーです。コロナ禍でしたがマスクを中心としてつながりが強まったようです。

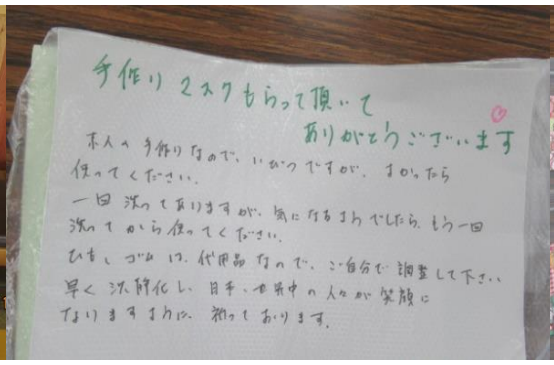
マスクを届行けてくださった佐久地区賛助会手芸手づくなの会の皆さん　右側の写真右端が依田グループ長
このグループの方々が布マスクを作っているとの情報からマスクプロジェクトが始まりました。

シニア大 OB の方々がいらっしゃることでプロジェクトが出発できました。日頃のつながりがあってこそ迅速な動きができる事を実感しました。基盤を大切にしないといけないですね。（橋本）

佐久地区賛助会「写経の会」がマスクを届けてくださいました。（ 布マスク 60 枚 ）
中心にすすめてくださったのがさくら班（高梨さん、深谷さん、井出さん）です。
写経の会、北村グループ長、立ち上げ時のグループ長・堀籠さんも一緒に来てくださいました。

【 感想 】

・楽しかった。　・できる事があればやりたいと思った。　・写経の心の実践と思って取り組んだ。
・夫婦で協力して一緒にできて良かった。　・布マスクを作ることでつながりが強まった。
・一時コロナを忘れて集中できた。



シニア大学 OB の方々からも思いのこもった手作りマスクが届きました。右の写真は子ども用マスクです。

□ 南相木村社会福祉協議会　デイサービスセンターみねお苑

南相木村社会福祉協議会　星野　光男事務員にマスクをお渡ししました。
皆さん、手間暇をかけてきれいに作られたマスクに感動され喜ばれていました。

星野さんから写真と感想が送られてきました。

作っていただいた方々の思いが伝わりました

□ ウエルガーデン佐久

輿水　妙子理事長（施設長）

御家族の面会、外出も制限されている現状で入居者の方々のストレスが溜まらないように施設でも様々な催しを企画しています。その一環として布マスク作りを進めてくださいました。

　入所者が作製してくださったマスクをいただきました。また、地域にも貢献したいということで長野銀行にも置かせてもらっているようです。

【 感想 】

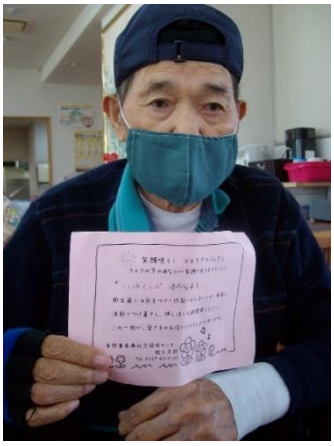
入居者の方も久しぶりに針をもって自分自身のマスクを作っていました。完成した時は、嬉しかったようで御家族に電話をかけている方もいらっしゃいました。マスク作りを通して、現在の社会情勢を気に掛ける入居者の方もいらっしゃいました。

【 気づき 】

新型コロナ感染症拡大を通して、色々な我慢、心配、不安等を抱えるようになりました。

この状況で、できる事をみつけたり、助け合うことで生活が成り立つことを実感しました。

※コロナ終息が見えてきたら様々な企画づくりを含めた連携ができそうです。



□ うすだコスモ苑

５月 13 日　シニア大２年生（賛助会写経の会）の３名の方々と一緒に布マスクお届けに伺いました。

新型コロナウィルス感染拡大に伴ない介護施設は感染を防ぎながら入所者へ介護や心のケアに懸命に取組んでいらっしゃいます。そんな中、児玉副施設長が対応してくださいました。

【 職員の感想 】
・これからの季節、通気性がよく蒸れずに良いと思います。
ストッキングの紐は、耳が痛くないです。・柄が可愛くて評判が良いです。
・厚手の生地は通気性が悪いので蒸れてしまいます。でも、冬場には適していると思います
・フィット感があり苦しくないので、付け心地がとても良いです。
・紐調整のできるマスクは、男性に適していると思います。・デザインが良いです。
※職員の皆さんはマスクを活用してくださっています。マスクの下に笑顔がありますように！

□ 宅老所およりなんし

管理者の竹内　渉さん（右写真、右側の方）にお渡ししました。
「大事に使わせていただきます。」のお声をいただきました。

□ デイケアさくら（雨宮病院）

中島ひとみ主任にマスクをお渡ししました。

□ デイサービスセンター星の里

丸山裕二センター所長にマスクをお渡ししました。

□ デイサービスセンター佐久平愛の郷

（社会福祉法人佐久平福祉会）

入居者代表の方にマスクをお渡ししました。佐久穂町の愛の郷でシニア大生が様々な活動を展開していたことを覚えておられた北原ホーム長からコロナ終息後、シニア大生にお手伝いいただきたい旨のお話をいただきました。丁寧なお礼状も届きました。

□ ニチイケアセンターなかごみ

センター長の鈴木みえ子様にマスクをお渡ししました。

□ 岩村田・東地域包括支援センター

新井三五子管理者にマスクをお渡ししました。

□ 佐久だいらデイサービスセンター

佐藤正隆所長にマスクをお渡ししました。

□ 社協アスパラキッズ

小諸市社会福祉協議会　大塚常務理事（事務局長）
と担当者の方にマスクをお渡ししました。

□ 小諸養護学校

丸山勝己教頭にマスクをお渡ししました。